

2022 年度（第 44 期）

事業報告

自：2022 年（令和 4 年）4 月 1 日
至：2023 年（令和 5 年）3 月 31 日



〒621-0027

京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷 18-2

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 平芳 一法

公益財団法人 関西盲導犬協会 2022 年度事業報告書
(2022 年 4 月 1 日-2023 年 3 月 31 日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬貸与計画

①貸与頭数

2022 年度の盲導犬の貸与頭数・貸与者は以下のとおり。

使用者証 NO.	代替 新規	性別	都道府県	犬名	犬種	犬性別	貸与日
7445	代替	女	高知県	ウォルター	LR	オス	5 月 9 日
7446	代替	男	大阪府	ダンテ	LR	オス	6 月 9 日
7447	代替	女	岡山県	ドーラ	LR	メス	7 月 1 日
7448	代替	男	京都府	スペンサー	LR	オス	9 月 17 日
7449	新規	女	奈良県	ジェイミー	F1	メス	10 月 30 日
7450	新規	女	広島県	デール	LR	メス	12 月 16 日
7451	新規	女	京都府	エディー	F1	オス	2 月 4 日
7452	新規	男	大阪府	マシュー	LR	オス	3 月 12 日

(犬種:LR:ラブラドル、F1:ラブ×ゴールデン)

②盲導犬実働数・ユーザー人数

2022 年度末の盲導犬実働数・ユーザー数は以下のとおり。

夫婦で 1 頭の盲導犬を使用する「タンデム」ユニットが現在 3 組。() の数字は前年度からの増減数

	盲導犬実働数(頭)	盲導犬ユーザー数(人)
2022 年度	63 (+4)	66 (+4)

③新規盲導犬ユーザー獲得の取り組み(新規希望者への働きかけ)

昨年に続き、新型コロナのため、体験歩行会等の「イベント」を通しての新規希望者の開拓はできなかったが、個別の問い合わせ者には新型コロナの状況を見ながら積極的に体験歩行を実施した。その結果、面接などその後の手続きを経て 7 名の新規希望者を獲得できた。

(2) 盲導犬ユーザーへのケア(フォローアップ)

①フォローアップの実施

フォローアップ体制の再編作業を継続しつつ、盲導犬ユーザーへの下記フォローアップを実施した。訪問によるフォローアップと電話・メールによる状況確認および相談フォローアップは以下のとおり。

1. 訪問フォローアップ		164 件(前年度 140 件)
内訳	定期	72 件
	共同訓練直後	9 件
	ファミリーリゼーション	11 件
	犬の健康管理(高齢犬の健康診断を含む)	24 件
	犬の問題行動	8 件
	その他	40 件
2. 電話(メール) フォローアップ		121 件

②盲導犬医療費の助成

盲導犬ユーザーに対して、盲導犬飼養に係る予防的医療費(狂犬病および混合ワクチン)およびフィラリア予防薬の購入費助成を継続した。

③高齢盲導犬へのケア

引退を間近に控えた 9 歳齢ならびに 10 歳齢の盲導犬に対する健康診断を当協会負担で継続実施し、健康状態を把握した。

(3) 犬の育成・ケア

①繁殖犬・パピー・訓練犬の状況

- ・ 出産頭数: 25 頭 (うち 23 頭をパピーウォーカーに委託、2 頭を他協会に譲渡)
- ・ 繁殖犬数: 22 頭 (オス 8 頭/メス 14 頭 2023 年 3 月末現在)
- ・ パピーウォーキング (巡回指導 205 回・パピースクール 35 回)
- ・ 訓練犬: 63 頭 (前年度からの在籍犬 17 頭、2022 年度の新入犬 46 頭)

②国内外の協力先との連携

- ・ AGBN (Asian Guide Dogs Breeding Network) の総会ならびに実務会議に出席した。(2022 年 5 月・9 月)
- ・ 国内他協会からの譲渡犬 (パピー): 4 頭

③凍結精液の利用

海外施設および自協会作成の凍結精液による人工授精を 2 回試み、それぞれ受胎を確認した。

④リタイア犬への医療費補助

混合ワクチン接種費用を除いた医療費、療養食、葬儀費に計 2,287,077 円の助成を行った。

⑤獣医師会との連携

公益社団法人京都市獣医師会による協会所有犬に対する定期健診・検査を継続した (年 12 回)。

(4) 職員の採用その他

①訓練士候補として正規職員 1 名を採用した。

②リーダー制の導入

訓練部門の分掌を再編し、育成・訓練・テラス各部門のリーダー計 3 名による合議制とした。

(5) 訓練部職員のスキルアップ

①認定 NP0 法人全国盲導犬施設連合会主催の研修会

同連合会が主催する以下のセミナーに、各テーマに関わる職員が参加した。

- ・ 相互研修事業「対応困難ケース①」(2022 年 8 月・オンライン開催)
- ・ 相互研修事業「クレーム対応」(2022 年 8 月・オンライン開催)
- ・ 相互研修事業「パピープログラム①」(2022 年 12 月・於九州盲導犬協会)
- ・ 相互研修事業「災害対応」(2023 年 2 月・オンライン開催)
- ・ 相互研修事業「対応困難ケース②」(2023 年 2 月・オンライン開催)
- ・ 相互研修事業「パピープログラム②」(2023 年 3 月・オンライン開催)

②訓練担当者の資格取得プログラム

盲導犬訓練士 2 名に対し、歩行指導員資格取得プログラムを継続し、うち 1 名が全国盲導犬施設連合会が主催する資格認定審査に合格した。(資格取得日は 2023 年 4 月 1 日付)

③国内外育成施設への職員派遣

訓練・歩行指導の研修を目的に、指導員・訓練士各 1 名を公益財団法人九州盲導犬協会に派遣した。

④研修を目的としたスタッフ派遣の要請を受け、社会福祉法人兵庫盲導犬協会の訓練スタッフ 1 名を受け入れた。

(6) 盲導犬貸与委員会

公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、外部委員を含めた「盲導犬貸与委員会」の開催を継続した。(中止とした 1 月を除く毎月 1 回、計 11 回開催)

(7) フレンドドッグ事業

①新型コロナのため、前年度に続き、高齢者ならびに障がい者施設でのフレンドドッグ活動は全て休止した。

②「亀岡市盲導犬ふれあい事業」として、亀岡市の委託による亀岡市立保育所・こども園 9 施設に対し、各 2~3 回、フレンドドッグ活動を行った (内、1 回は「ガレリアかめおか」にて合同開催。盲導犬ユーザーの話を聞く機会を設けた)。

(8) 調査研究

京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続した。

1-2. 相談事業

(1) 苦情ならびに相談に関する対応

2022 年度に受けた苦情ならびに相談の状況は、総数 19 件であった。

①入店ならびに利用拒否等の相談:4 件

- ・ 飲食店:2 件(解決済)
- ・ 専門学校:1 件(解決済)
- ・ 高齢者施設:1 件(対応継続中)

②盲導犬ユーザーの受け入れに関する相談:3 件

- ・ 企業から盲導犬ユーザーの採用について:1 件(情報提供済み)
- ・ 入浴施設での受け入れについて:1 件(情報提供済み)
- ・ 美容室での受け入れについて:1 件(情報提供済み)

③ユーザーの盲導犬への不適切な扱いに関する相談:11 件

- ・ 盲導犬への不適切な扱いやケアの不足について等:10 件(内 4 件はフォローアップを実施し状況を確認、対応した。3 件は他協会ユーザー、その他 3 件は情報不足のため該当者判明できず)
- ・ 夏場の移動 :1 件(情報提供済み)

④その他の相談・問い合わせ等:1 件

- ・ ボランティアの対応について:1 件(確認したが報告されたような状況は確認できなかった)

(2) 他機関との連携

盲導犬ユーザーの盲導犬の扱いに関する苦情について、全国盲導犬施設連合会と連携し対応した。

1-3. 啓発普及事業

(1) 啓発普及

①視覚障がい者を対象とした啓発活動

以下の団体からの依頼を受けて、体験歩行会を実施した他、個人からの依頼には随時対応した。

- ・ 奈良県視覚障害者協会(5 月 29 日)
- ・ 亀岡市視覚障害者協会(10 月 12 日)
- ・ 兵庫県視覚障害者福祉協会(12 月 2 日)
- ・ 京都ライトハウス鳥居寮(3 月 15 日)

②定例見学会の実施ならびに団体等の見学受入れ

- ・ 当協会会場の見学会:8 回(参加者 201 名)
- ・ YouTube によるオンライン見学会:1 回
- ・ 団体見学の受入れ:22 件 478 名

③ユーザー主体の啓発普及活動の実施

新型コロナの影響はまだあるものの、学校での講演依頼は前年度に比べると増えてきている。詳細は以下のとおり。※[]内は、ユーザーの講演件数

- ・ 学校での講演活動:40[27]件
- ・ イベントならびに社会奉仕団体等の例会、企業研修等での講演:25[9]件

④機関紙「ハーネス通信」の発行

例年通り、4・7・10・1 月の計 4 回、それぞれ墨字版・点字版・CD 版を発行した。

⑤ホームページや各種ソーシャルネットワーク(SNS)を活用した情報発信

新型コロナ禍において、ホームページならびに各種 SNS での頻繁な情報発信に努めた。

⑥行政ならびに他機関との連携

- ・視覚相談会:6回(京都府家庭支援総合センター主催/木津川市・舞鶴市・南丹市・城陽市・綾部市・大山崎町)
- ・JR 西日本から駅設備変更等の情報提供を受け、駅を利用する盲導犬ユーザーへの連絡を行った。

(2) 協会主催・共催イベント

①協会主催イベント

- ・「盲導犬 Love's フェスタ 2022」を YouTube のライブ配信で開催した。(4 月 29 日)
- ・「ボランティアズデー」を亀岡運動公園で開催した。(11 月 3 日)

②京都府の視覚障害者団体との共催イベント

「白杖安全デー(オンライン)」、「あい・らぶ・ふえあ(7 月 30、31 日 イオンモール京都)」のそれぞれに職員を派遣して共催イベントを実施した。

2. 管理部門

(1) 収入と支出に関する取り組み

- ①各種 SNS・街頭募金活動等を通し、広く支援・寄付を呼びかけたほか、オリジナルカレンダー、小冊子を作成し配布するなど、支援者への新たな働きかけを実施した。
- ②街頭募金活動を強化し、募金収入の増加を図った。
- ③協会所有犬に対する医療費の確保を目指し、本年度も READYFOR 株式会社によるクラウドファンディングを実施した。
- ④亀岡市と協同し、本年度も「ふるさと納税」を活用した支援を募った。
- ⑤現状報告(2023 年 3 月末現在)。

a. 賛助会員

総賛助会員数 1,426 件(前年度から 79 件増)

正会員 1,148 件(前年度から 20 件増)

後援会員 38 件(前年度から 1 件増)

法人会員 31 件(前年度と同じ)

マンスリー会員 207 件(前年度から 61 件増 ※せんえんサポーターと合算)

青少年会員 2 件(前年度から 3 件減)

b. 募金箱

・設置件数:1,640 件(前年度から 17 件減)

・回収金額:8,758,351 円(前年度実績 9,903,977 円)

c. 街頭募金

・実施回数:108 回(前年度実績 39 回)

・募金金額合計:12,639,013 円(前年度実績 3,644,343 円)

d. 募金型自動販売機

・設置台数:86 台(前年度より 11 台設置・4 台撤去)

(2) 事務職員の採用

嘱託職員 1 名を管理部門の正規職員として採用した。

(3) 支援者管理システムの導入

新たな支援者管理システムを導入し、2022 年 9 月から本格稼働させた。

(4) 収益事業の検討

本年度は街頭募金活動に注力し、その検討は行っていない。

(5) 労働環境の整備

外部社労士と委託契約を交わし、給料表の改定や人事考課表の作成に着手した。

3. 施設整備ならびに備品購入等

(1) 車両の購入

国際ソロプチミスト京都・葵の助成により、パピーウォーカー巡回用車両 1 台を購入した。

(2) その他

ハーネス研修センターのエアコン 1 台を交換した。